

■早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)

第10回原子力政策・福島復興シンポジウム

「東日本大震災と福島原発事故から10年～1F廃炉の将来像と『デブリ取り出し』を考える～」ご案内

早稲田大学は、早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)主催「第10回原子力政策・福島復興シンポジウム：東日本大震災と福島原発事故から10年～1F廃炉の将来像と『デブリ取り出し』を考える～」を、2021年3月6日(土)午後、オンラインにて開催いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

■本シンポジウムの目的

東日本大震災・福島原発事故から2021年3月11日で10年を迎えます。早稲田大学は、2011年5月に東日本大震災復興研究拠点を設立し、早稲田大学の知的共同体としての叡智を結集し、創造的復興に貢献すべく研究を行ってまいりました。また、2017年5月には早稲田大学環境総合研究センターの地域リサーチセンターとして、福島県広野町との協力協定に基づき早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンターを設置し、長期的かつ広域的な観点から福島復興の調査研究を行っています。

本シンポジウムでは1F廃炉の将来像と「デブリ取り出し」に焦点を当てます。1F廃炉の将来像を決めるのは「デブリ取り出し」です。「デブリ取り出し」はどこまで可能なのか、そもそも「デブリ取り出し」にこだわるべきなのか、取り出した後の「デブリの管理・処分」はどうするのか、などについて技術的側面と社会的側面から考察します。また、福島浜通り地域からの参加者を交えて、福島における「復興と廃炉の両立」の具体化と30年後・50年後・100年後の1F廃炉の将来像と地域再生について議論したいと考えています。

■開催概要

- ・日 時：2021年3月6日(土) 13:00～17:00
- ・方 法：Zoom ウェビナー
- ・申 込：以下のサイトより申込みください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Erl596j0RMyrka0quln_xw

- ・問合せ先：早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI) e-mail: jyuten-fukkou@list.waseda.jp
- ・主 催：早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)
<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/index.html>
- ・後 援：早稲田大学アジア太平洋研究センター(WIAPS)
早稲田大学環境総合研究センター(WERI)・ふくしま広野未来創造リサーチセンター

■プログラム

【開会挨拶】 黒田一雄(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科長・教授)

友成真一(早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科長・教授)

【報告1】 井上 正(電力中央研究所・名誉研究アドバイザー)

「1F廃炉の将来像と『デブリ取り出し』を考える：技術的側面から」

【報告2】 岡本孝司(日本原子力研究開発機構・福島研究開発部門・廃炉環境国際共同研究センター長)

「1F廃炉の将来像と『デブリ取り出し』を考える：研究開発の側面から」

【報告3】 松岡俊二(早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター長、1F廃炉の先研究会代表)

「1F廃炉の将来像と『デブリ取り出し』を考える：社会的側面から」

【パネルディスカッション】

モデレーター：

崎田裕子(NPO法人・持続可能な社会をつくる元気ネット・前理事長、1F廃炉の先研究会副代表)

パネリスト：

遠藤秀文(株式会社ふたば・社長、技術士、APEC エンジニア、福島県富岡町)

井上 正(電力中央研究所・名誉研究アドバイザー、原子力工学)

寿楽浩太(東京電機大学工学部・教授、科学技術社会学)

松本礼史(日本大学生物資源科学部・教授、資源経済学)

松岡俊二(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・教授、環境経済・政策学)

岡本孝司(東京大学大学院工学系研究科・教授、原子力工学)

奥田修司(経済産業省資源エネルギー庁電力・ガス事業部・原子力発電所事故収束対応室・室長)

小野田弘士(早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科・教授、環境工学)

菅波香織(未来会議事務局長・弁護士、福島県いわき市)

竹内真司(日本大学文理学部・教授、地球科学)

寺本 剛(中央大学理工学部・准教授、哲学・倫理学)

吉田恵美子(NPO法人・ザ・ピープル理事長、いわきおてんとSUN企業組合・代表理事、福島県いわき市)